

(シラバス No.16)(専門科目(学校教育領域))

科目名	学校教育相談特論	単位数	2単位	科目コード	B2
	Advanced Seminar on School education counseling	形態	選択		
		担当教員	大野精一	教職	小中高
【授業概要】					
<p>小・中・高等学校で教諭・養護教諭が中心になって行われている教育相談活動（学校教育相談）に焦点を合わせ、理論や歴史、スキル等について実践的な理解を深める。特に心理社会面や健康面のみならず進路面や学習面への効果的な援助や、スクールカウンセラーを含む校内協働体制、校外専門機関との連携等のあり方を実践的に追究する。またアメリカやヨーロッパ、東アジア等のスクールカウンセリング実践を紹介し、日本の学校教育相談の特徴や今後の展望について比較的に考える。</p>					
【授業の到達目標】					
<p>本授業では小中高校生に対する効果的な教育相談を行うために必要な理論及び方法を実践的に理解することを目標としている。そのために教育相談に関する歴史や各国での実践、さらに各種の理論等を広く取り上げるとともに、生徒の心理社会面や健康面、進路面学習面への指導援助を具体的かつ総合的・統合的に展開する方法等を習得する。</p>					
【授業計画】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 本における学校教育相談の歴史と展望 3. アメリカを中心とする諸外国のスクールカウンセリングの歴史と実践 4. 学校教育相談と教育相談、スクールカウンセリング、カウンセリングとの異同と区分け 5. 学校教育相談と生徒指導、特別支援教育 6. 学校教育相談と学校心理学 7. 学校教育相談と発達心理学、コミュニティ心理学 8. 学校教育相談と臨床心理学、心理教育的アセスメント 9. 危機介入の理論と実際 10. コンサルテーションの理論と実際 11. 生徒の心理社会面への指導援助のスキル 12. 生徒の健康面への指導援助のスキル 13. 生徒の進路面への指導援助のスキル 14. 生徒の学習面への指導援助のスキル 15. 学校内での協働体制や学校外での専門機関等との連携 					
【評価方法】					
<p>試験（50％）、課題発表・レポート提出（30％）、受講態度（質疑応答等の積極性など）（20％）で判定する。</p>					
【教科書】					
<p>大野精一『学校教育相談—理論化の試み』（ほんの森出版、1996） 大野精一『学校教育相談—具体化の試み』（ほんの森出版、1997）</p>					
【参考図書】					
<p>C・キャンベル、C・ダヒア著（中野良顯訳）『スクールカウンセリングスタンダード—アメリカのスクールカウンセリングプログラム国家基準』2000年刊、図書文化/C・J・ジェルソー、B・R・フリッツ『カウンセリング心理学』2007年刊、ブレーン出版 その他は以下のWEBサイトで参考書・参考資料等を授業ごとに毎回指示する http://schoolcounseling.cocolog-nifty.com/peer/</p>					